



フィットネス指導者資格

■公認ジュニアスポーツ指導員

養成目的 発育発達期の身体的・心理的特徴についての専門的な知識と技能を持ち、2歳から15歳の子どもたちを対象に、総合的なからだづくりと、基礎的動作の習得を目的としたプログラムを提供できる指導者の養成。

役割 地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行う。

受講条件 受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者。

受講カリキュラム 共通科目35h（共通Ⅰ：通信講座）専門科目40h

実施方法 当該年度6月～翌年2月

受講料 共通科目21,000円 専門科目21,000円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。

連絡先 日本体育協会

区分		カリキュラム内容		時間数		
				集合	その他	計
1	基礎	①	ジュニア期のスポーツの考え方	1.5h	1.5h	3h
		②	ジュニアスポーツ指導員の役割	1.5h	1.5h	3h
		③	子供の発達とコミュニケーションスキル	4h	2h	6h
2	乳幼児期 (2～4歳)	①	動きの発達とスキルの獲得（基本的動作の習得）	3h	2h	5h
		②	運動あそび・ゲームの実際※コーディネーション能力を高める運動を含む			
3	児童前期 (5～8歳)	①	動きの発達とスキルの獲得（動作の習熟）	3h	2h	5h
		②	運動あそび・ゲームの実際※コーディネーション能力を高める運動を含む			
4	児童後期 (9～12歳)	①	動きの発達とスキルの獲得（スポーツスキルの上達）	3h	2h	5h
		②	スポーツスキル獲得の実際※コーディネーション能力を高める運動を含む			
5	青年前期 (13～15歳)	①	動きの発達とスキルの獲得（より専門性の高いスポーツスキルの習得）	3h	2h	5h
		②	スポーツスキル獲得の実際※コーディネーション能力を高める運動を含む			
6	指導実習	①	指導実習	8h	0h	8h
		②	評価			
		③	筆記			
				27h	13h	40h